

## 第 6 回 八戸西スマートインターチェンジ地区協議会資料（概要版）

### 1. 供用開始（H31.3.23）から現在（R4.8.31）までの利用状況

#### 【(1) 八戸西スマート IC の概要と位置】

- ・八戸西インターチェンジは、東北縦貫自動車道八戸線、八戸是川インターチェンジと八戸北インターチェンジの間に設置され、平成 31 年 3 月 23 日に供用開始となった。
- ・ETC 搭載車両の通行を目的としたスマートインターチェンジとなっており、供用開始により、インターチェンジの勢力圏域が広がり、八戸市西部のみならず、隣接する五戸町においても利便性が向上し、通勤やレジャーなどの人的交流が促進されている。

#### 【(2) 平均出入交通量（1日あたり）と累計出入交通量】

- ・令和 3 年の 1 日あたりの平均出入交通量は 670 台となっており、計画交通量の 610 台を上回っている。また、令和 4 年は 8 月末までの平均出入交通量で 740 台となっている。
- ・供用開始から令和 4 年 8 月末までの平均出入交通量も 640 台と、緊急事態宣言や新型コロナウイルス感染拡大の影響による増減はあるものの、計画交通量を上回っている。
- ・累計交通量は約 81 万台となり、普通車・軽自動車が全体の約 9 割を占めている。

#### 【(3) 曜日別出入交通量】

- ・平成 31 年と比較して、コロナ禍で減少した土日の交通量は回復してきており、特に平日は大幅な増加傾向がみられます。
- ・中型・大型・特大車の交通量は土日よりも平日が多い傾向となっており、普通車・軽自動車は曜日毎の変化は少なく、西スマートインターチェンジの利用が定着してきていると思われる。

#### 【(4) 前後 IC の出入交通量の変化】

- ・八戸西スマートインターチェンジ開通前の平成 30 年と令和 3 年との交通量の比較では、八戸北インターチェンジは 100 台の減少、八戸是川インターチェンジ・八戸ジャンクション料金所は 340 台の増加となっている。また、前後のインターチェンジとの交通量の合計は、910 台の増加となり、令和 4 年と比較いたしますと、1,100 台の増加となっている。
- ・令和 3 年に全線開通した三陸沿岸道路や延伸する上北自動車道にアクセスできる八戸是川インターチェンジや八戸西スマートインターチェンジの利用が伸びたことによる増加と考えられる。

#### 【(5) 前後 IC+八戸 IC+南郷 IC の出入交通量の変化】

- ・三陸沿岸道路や上北自動車道にアクセスできない八戸インターチェンジは、コロナ禍の落ち込みから回復できていない状況となっている。
- ・一方で、八戸是川インターチェンジや八戸西スマートインターチェンジの交通量が増加したことで、周辺インターチェンジを含めた全体交通量は増加しており、利用するインターチェンジに変化が見られる。

## 2. 前回地区協議会（R3.8.4 開催）での意見に対する回答

### 【前回いただいた意見】

①季節毎の利用台数を分析し、冬期間の利用状況の確認と対策を検討していただきたい。

- ⇒ ・八戸西スマートインターチェンジの出入交通量データを分析したが、令和2年、3年については、新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きく、季節による大きな差異を確認できない。
- ・感染状況を踏まえ、引続き、季節による利用状況の変化を注視していきたい。

②八戸北インターチェンジ利用者の増加理由について分析し、利用促進方策に繋がられるか検討していただきたい。

- ⇒ ・八戸北インターチェンジの交通量の変化を分析したところ、利用者の増加がみられたのは平成31年のみで、その後は開通前の平成30年と比較しても、大幅な増加はみられなかった。平成31年3月の上北天間林道路と八戸西スマートインターチェンジの一時的な開通効果により交通量が増加したものと考えられる。
- ・令和2年、3年は、コロナ過の影響もあり、開通前よりも交通量が減少しているが、令和4年11月27日に上北自動車道が全線開通となり、八戸～青森間の所要時間短縮が図られたことから、今後、交通量の増加が期待される。
- ・高規格道路の整備状況を広報誌により広く周知し、利用促進を図っていきたい。

③八戸西 SIC 開通による整備効果の実証として、短縮時間の実測値を ETC2.0 データと比較していただきたい。

- ⇒ ・前回協議会参考資料「八戸西スマートインターチェンジの整備効果」では、時間短縮効果として令和元年の実測値で検証していたが、国土交通省より ETC2.0 データの提供を受け比較した。

ETC2.0 データ	整備前	整備後	短縮時間	R1 実測 短縮時間
八戸駅-下北半島方面	16.2分	11.6分	4.6分	6分
十和田八幡平国立公園方面-南郷方面	18.1分	10.2分	7.9分	14分
八戸駅-三陸復興国立公園方面	21.7分	10.2分	11.5分	4分

④SNS を利用した定期的な広報していただくことは考えられないか。

- ⇒ ・利用促進方策として、今後実施を検討したい。

⑤八戸環状線に八戸西 SIC の案内標識を設置する協議を行っていただきたい。

- ⇒ ・八戸環状線の事業進捗状況に合わせて、青森県と協議します。

### 3. 利用促進方策の進捗状況

#### 【(1)案内誘導標識の追加設置等】

青森県施工（令和4年3月実施）

- ・国道454号に標識を設置（八戸西スマートICから300mの箇所）
- ・国道454号に標識を設置（八戸西スマートICから100mの箇所）
- ・国道454号の入口誘導レーンに行先方面及び誘導線を表示

八戸市施工（令和4年2月、10月実施）

- ・「盛岡・仙台方面へはこの先の交差点を左折」の標識を撤去
- ・「三沢方面へはこの先の交差点を右折」の標識を撤去
- ・施工前の状況（行先がわかりにくく、上下線の入り口を間違えやすい。）
- ・八戸西スマートICの入口に「〇〇方面入口」の標識を設置
- ・ガードレールに「〇〇方面」の案内と矢印設置、退出路にカラー舗装

#### 【(2)広報・ホームページ等への掲載】

- ・広報はちのへに、八戸西SICの利用状況や整備効果、利用促進についての記事を掲載。
- ・市ホームページに、整備効果（前回地区協議会の報告資料より抜粋）を掲載。
- ・今後も随時、利用状況や利便性等について周知を図る。

#### 【(3)PRチラシ・PRポスター等の配布】

- ・青森や上北方面、三陸沿岸方面からの利用者及び、新幹線で来訪しレンタカーを利用する旅行者を対象に、八戸西スマートインターチェンジの広域的な周知を図るため、道の駅13箇所にPRポスターとチラシ1,300枚を配布。（令和4年5月実施）
- ・八戸駅周辺のレンタカー店舗（9店舗）にPRポスター及びPRチラシ900枚を配布。
- ・八戸圏域8市町村にPRチラシ800枚を配布。
- ・国土交通省提供のOD調査の結果から、八戸西スマートインターチェンジ利用者が多い八戸駅周辺エリアの220事業所に、ポスティングによりPRチラシを配布。（令和4年2月実施）
- ・市街地の渋滞エリアを回避し、通勤時間を短縮することができることをPRし、従業員の通勤利用促進と、スマートインターチェンジ利用時の注意事項を掲載。

#### 【(4)会員団体が有する機関誌等への掲載】

- ・当協議会会員である八戸商工会議所様発行の「八戸商工ニュース」へ、スマートインターチェンジの利用を促す記事を掲載。（令和3年8月5日号）
- ・公益財団法人高速道路調査会が発行している月刊誌「高速道路と自動車」に記事を掲載。（令和4年2月号）

#### 【(5)八戸西SICを活用した観光モデルコースの発信】

- ・八戸圏域の観光情報等を発信するDMO観光地域づくり法人VISITはちのへのホームページで紹介している観光モデルコースに、新たに2コースを追加掲載予定。